

シリーズ 認知症を学ぼう③

認知症は治らないから、医療機関に行っても仕方がないと考えていませんか？認知症も他の病気と同じように、

## 早期診断を受けることで変わります

◎本人の様子から、あなたの考える認知症はどの段階？

認知症の進行度	元気	ちょっと気になる	軽度	重度
本人の様子		<input type="checkbox"/> 同じことを言う <input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れ <input type="checkbox"/> 電話の内容を忘れる	<input type="checkbox"/> 同じことを何回も言う <input type="checkbox"/> 薬の管理ができない <input type="checkbox"/> 電話があったこと自体を忘れる	<input type="checkbox"/> 言葉数が減る <input type="checkbox"/> 表情が乏しい <input type="checkbox"/> 家族のことを認識できない
本人の気持ち		<input type="checkbox"/> 「また？」と言われるようになった	<input type="checkbox"/> 「怒られた」「すまない」「楽しい」という気持ちだけは残るが…	
家族の気持ち		<input type="checkbox"/> 最近多いなあ <input type="checkbox"/> 年だしね…	<input type="checkbox"/> 気になるが生活には困らない程度だから…	<input type="checkbox"/> どうしたらいいの？ <input type="checkbox"/> 困った

POINT

### “ちょっと気になる”時点で受診しましょう

◎以下の3つのメリットがあります。

その

①

#### 進行を遅らせることが可能な場合があります

○アルツハイマー型認知症は、早い段階からの服薬等の治療や本人の気持ちに配慮した適切なケアを行うことで、進行をゆるやかにすることが可能といわれています。

その

②

#### 認知機能低下による一時的な症状の場合があります

○認知症を引き起こす病気には、早めに治療すれば改善が可能なもの（正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症など）もあるので、早めに受診して原因となっている病気を突き止めることが大切です。  
 ○生活習慣病（糖尿病・高血圧など）が重症化することで見られる紛らわしい症状もありますが、きちんとコントロールすることで症状が改善する場合があります。

その

③

#### 今後の生活の準備をすることができます

○早期に診断を受け、症状が軽いうちに、本人や家族が認知症への理解を深め、病気と向き合い話し合うことで、今後の生活の備えをすることができます。